

# 令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	5-3-1		
2 地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3 政策	ごみ減量・清掃事業の推進		
4 施策	3Rの推進【重点】		
5 評価担当部	環境清掃部		
6 施策関連課	ごみ減量推進課		
7 評価者	環境清掃部長 高桑 光浩		

8 施策の目標	環境負荷の低減のために、リデュースとリユースによるごみが排出される前の段階での、より一層のごみの減量や、質の高いリサイクルを推進します。 ごみの発生抑制、使わなくなったものの再使用、ごみと資源の分別徹底について、より一層の普及啓発を行います。						
9 施策の現状と課題	・清掃工場の処理能力や最終処分場の残容量の面から、また、環境負荷低減のためにも更なるごみの減量が必要であり、一人ひとりがごみと資源の分別徹底やリサイクルなどを通して、さらにごみの減量を意識し、行動することが課題である。						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	・資源のリサイクルは、アジア諸国への輸出など、海外需要に依存しているため、輸出国の政策や感染症による都市封鎖などに影響を受け、市況が大きく変動する。						
11 今年度の施策の取組方針	・ごみと資源の分別や出し方、資源の有効活用について、パンフレットの全戸配布やホームページでの発信など、多角的で効果的な情報提供を行う。 ・普及啓発講座の対象拡大や食品ロスや廃プラ問題といった社会情勢を踏まえた内容を取り入れる等、質的充実にも力を入れる。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	665,504	637,438	714,346	705,761	0	
	うち一般財源分(千円)	554,660	511,397	587,241	601,331	0	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」と回答する区民の割合【%】	目標値	38%	38.50%	39%	39.50%	40%
		実績値	28.90%	33.80%	32%	30%	—
		達成率	76.1%	87.8%	82.1%	75.9%	—
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	—
	指標重要度の割合(%)	70	指標設定理由	ごみの減量についての区民の理解と、行動の状況が把握できる指標であるため。			
	指標(2)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	資源回収量【トン】	目標値	18,054	18,455	18,858	19,046	19,130
		実績値	14,864	14,090	14,802	14,860	—
		達成率	82.3%	76.3%	78.5%	78.0%	—
達成状況		B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	—	
指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由	ごみの減量についての区民の理解と、行動の状況が把握できる指標であるため。				
14 施策達成状況	令和元年度達成状況	76.6%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	ごみ減量を推進するためには、定着しているリサイクルへの取り組みとともに、2R(リデュース、リユース)に対するさらなる意識啓発を今後も続けていく必要がある。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
ごみの減量とリサイクルの重要性について区民の理解と行動の状況が把握できる指標として設定している。							
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	中国やアジア諸国の廃プラスチック輸入規制、食品ロス削減推進法の成立等、ごみの減量が一層求められている中で、一人ひとりの意識と行動を変えていくために、3Rの推進・啓発は欠かせない。より一層効果的な啓発方法を常に模索しながら進めていく必要がある。						
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	3R推進のための意識啓発や効果的な情報提供、集団回収の自発的な活動への支援等、それぞれの事業でごみの減量を推進しているため、序列をつけるのは相応しくないが、区民一人ひとりが行動した結果が、資源回収量となって反映される。そのため、8品目12分別を週2回実施し、回収量の大半を占める資源回収事業の貢献度を高く設定した。						

# 令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	資源回収や集団回収等、豊島区の資源回収は高いレベルにある。 一方でごみや資源の分別が不十分で外国人や一部の事業者に対して、ホームページやパンフレットをよりわかりやすいものに改定するなど、啓発を強化していく。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量のため、燃やすごみとして排出されている紙類の分別を進める一方で、海外の輸入規制と市況の悪化から、古紙問屋が加盟する関東製紙原料直納商工組合が、自治体回収の雑がみ(チラシ、包装紙、紙袋、紙箱、封筒、コピー用紙など)を取り扱わない方針を示した。ごみの減量と環境負荷の低減を実現するためには、区民が分別して排出した雑がみを焼却に回すことはできない。そのため、雑がみのリサイクルが可能となる包装容器リサイクル法の分別基準を満たすための選別を、追加で委託する必要がある。</li> <li>・区施設等から排出されるごみ収集及び資源の回収において、中国やアジア諸国の廃プラスチック輸入規制による影響と、人件費や燃料費の増大によって処理費用が高騰しているため、委託費の増加が想定されている。</li> </ul>

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0603-01	3R推進啓発事業	事業費合計(千円)	9,934	10,033	8,978	9,025	
		うち一般財源分(千円)	9,934	10,033	8,978	9,025	
		現状評価	A:良好	B:普通			
		施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続	
事業特性2	区単独						
0603-02	集団回収事業	事業費合計(千円)	25,678	22,902	19,800	18,223	
		うち一般財源分(千円)	25,678	22,902	19,800	18,223	
		現状評価	A:良好	A:良好			
		施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持		B:改善・見直し	
事業特性2	区単独						
0603-05	資源回収事業	事業費合計(千円)	542,347	555,080	532,461	526,484	
		うち一般財源分(千円)	431,503	429,039	410,030	425,601	
		現状評価	A:良好	A:良好			
		施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持	
事業特性2	区単独						
0603-06	不燃ごみの資源化事業	事業費合計(千円)			100,410	104,406	
		うち一般財源分(千円)			95,736	100,859	
		現状評価					
		施策貢献度			★★★	★★	
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性				A:改善・継続	
事業特性2	区単独						
0603-09	フードロス対策事業	事業費合計(千円)				3,073	
		うち一般財源分(千円)				3,073	
		現状評価					
		施策貢献度				★	
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性					
事業特性2	区単独						
20 施策を構成する一般事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0603-03	リサイクルセンター運営	事業費合計(千円)	74,955	11,388	10,534	7,186	
		うち一般財源分(千円)	74,955	11,388	10,534	7,186	
		現状評価					
		施策貢献度	★★	★★	★★		
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性					
事業特性2	区単独						
0603-04	拠点回収事業	事業費合計(千円)	12,590	12,886	10,855	8,435	
		うち一般財源分(千円)	12,590	12,886	10,855	8,435	
		現状評価					
		施策貢献度		★★	★★		
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性					
事業特性2	区単独						
0603-07	区施設資源・ごみ回収事業	事業費合計(千円)		14,983	18,794	18,961	
		うち一般財源分(千円)		14,983	18,794	18,961	
		現状評価					
		施策貢献度					
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性					
事業特性2	区単独						
0603-08	資源持ち去り防止対策事業	事業費合計(千円)		10,166	12,514	9,968	
		うち一般財源分(千円)		10,166	12,514	9,968	
		現状評価					
		施策貢献度					
事業特性1	任意的事業	今後の事業の方向性					
事業特性2	区単独						

# 令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	5-3-2		
2 地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3 政策	ごみ減量・清掃事業の推進		
4 施策	安定的で適正なごみ処理の推進		
5 評価担当部	環境清掃部		
6 施策関連課	ごみ減量推進課	豊島清掃事務所	
7 評価者	環境清掃部長		

8 施策の目標	<p>区民・事業者・区が適切な役割分担のもと一体となって、ごみの減量を推進します。</p> <p>最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。</p>						
9 施策の現状と課題	<p>・区民の分別排出への協力や事業者によるごみの発生抑制などにより、区民一人1日当たりのごみ量は、一般廃棄物処理基本計画で定める目標値を達成している状況である。</p> <p>・限りある資源を有効に活用する持続可能な循環型社会を実現するために、区民・事業者・区がそれぞれの役割と責任に応じて、発生抑制と分別・適正排出の徹底、不法投棄や不適正な運搬・処理の防止、処理困難廃棄物や廃棄物に含まれる有害物質への対策など、より適正なごみの処理に取り組むことが課題である。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<p>基本的枠組み法である「循環型社会形成推進基本法」や個別法である「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源有効利用促進法」、「家電リサイクル法」の改正動向を踏まえたうえで、東京都、近隣区と連携のとれた計画の策定が求められている。</p>						
11 今年度の施策の取組方針	<p>・一般廃棄物処理基本計画の改定により今後の廃棄物処理の基本方針を定める。災害廃棄物処理計画及び食品ロス削減推進計画を策定する。</p> <p>・適正排出指導等により、適正なごみ処理を推進する。</p> <p>・大量排出、不適正排出事業者への指導、啓発により民間収集への移行を図る。</p>						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	2,783,750	2,775,783	2,903,557	2,895,815	0	
	うち一般財源分(千円)	2,453,716	2,434,674	2,558,751	2,549,974	0	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	区民一人1日あたりのごみ量(可燃・不燃・粗大ごみ)【g】	目標値	564	552	540	528	516
		実績値	543	541	523	526	
		達成率	103.7%	102.0%	103.1%	100.4%	—
		達成状況	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成	
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由 区民・事業者・区が適切な役割分担に基づき、ごみの適正な処理を進めていることを示す指標であるため					
14 施策達成状況	令和元年度達成状況	100.4%	【達成状況分析】				
	A:達成		<p>池袋駅周辺繁華街地域でのごみ収集の見直しと資源回収の開始により、区民のごみ排出意識の変化や事業系ごみの民間収集業者移行が進んだこと、また資源回収量が増加したことで、区民一人1日当たりのごみ量は、一般廃棄物処理基本計画で定める目標値を達成した。また、不燃ごみの資源化事業により不燃ごみの90.13%を資源化したためごみ量が減少した。</p> <p>今後、事業者への排出指導強化等により、更なるごみの減量を推進していく必要がある。</p>				
			【指標重要度の割合の設定理由】				
			<p>当該施策は、適正な排出指導等の様々な事業より構成されている。これらの事業は、それぞれ目標値はあるものの、最終的な目的はごみ量を減らすことにあるため、施策達成のための指標を一つとした。</p>				
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	<p>各事業を効率的、効果的に運用することで、区民一人1日当たりのごみ量は、一般廃棄物処理基本計画で定める目標値を達成してきている。</p>						
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	<p>ごみの減量や安定的で適正なごみ処理の推進のためには、現状を分析し、時流をとらえた計画を策定するとともに、排出指導等様々なアプローチが必要である。一方で、ごみの収集はライフラインという側面があるため、成果を数値化することが必ずしも適切ではない事業もあり、これらの事業は義務的業務とした。</p>						
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	<p>ごみの発生抑制や再利用を推進するとともに、社会経済等の動向に対応した新たな資源化について検討し、更なるごみの減量をめざす。</p> <p>また、不法投棄や不適正な運搬・処理の防止、処理困難廃棄物や廃棄物に含まれる有害物質への対策など、より適正なごみの処理の推進に取り組んでいく。</p>						

# 令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

18 新規・拡充事業の効果や必要性	<p>ごみの発生抑制と分別・適正排出の徹底、不法投棄や不適正な運搬・処理の防止、処理困難廃棄物や廃棄物に含まれる有害物質への対策、街の環境美化の向上、区民ニーズの変化への対応等が求められているため、清掃車両や計画策定に関し新たな取り組みを行う必要がある。</p> <p>現在、プラスチックによる海洋ごみ問題・地球温暖化といった地球規模の課題が深刻化する中で、地方自治体にはプラスチックの更なる資源化が求められている。豊島区においても、東京都の補助金などを活用し、新たな資源化について検討する必要がある。</p>
-------------------	---

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
60404	廃棄物収集作業		事業費合計(千円)	1,029,118	1,031,127	1,146,976	1,132,007	
			うち一般財源分(千円)	844,268	836,045	950,353	933,358	
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	法定事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	
60408	事業系ごみ適正処理推進事業		事業費合計(千円)	35,945	35,716	39,189	39,364	
			うち一般財源分(千円)	35,945	35,716	39,189	39,364	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	
	計画推進事業		事業費合計(千円)	31,852	32,169	14,290	1,718	
			うち一般財源分(千円)	31,852	32,169	14,290	1,718	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	
20 施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
60402	職員安全・衛生対策		事業費合計(千円)	27,845	27,830	23,559	22,283	
			うち一般財源分(千円)	27,845	27,830	23,559	22,283	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	—(再掲分)	★★	—(再掲分)	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	
60403	直営車両(購入・維持)経費		事業費合計(千円)	178,591	179,204	179,220	191,840	
			うち一般財源分(千円)	176,681	178,714	178,618	191,837	
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	—(再掲分)	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	
60405	粗大ごみ収集		事業費合計(千円)	258,183	271,220	276,019	281,139	
			うち一般財源分(千円)	139,751	147,397	150,775	156,287	
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	法定事業	施策貢献度	—(再掲分)	—(再掲分)	★★★	★★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	A:現状維持	
60406	不法投棄対策事業		事業費合計(千円)	29,292	25,530	25,795	37,783	
			うち一般財源分(千円)	29,292	25,530	25,795	37,783	
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	—(再掲分)	—(再掲分)	★★	—(再掲分)	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	
60407	廃棄物排出指導業務		事業費合計(千円)	37,212	37,177	35,663	35,212	
			うち一般財源分(千円)	37,212	37,177	35,663	35,212	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	—(再掲分)	★★★	★★★	—(再掲分)	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	
60409	池袋繁華街カラス被害防止対策事業		事業費合計(千円)	20,472	20,359	26,925	22,458	
			うち一般財源分(千円)	20,472	20,359	26,925	22,458	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	—(再掲分)	★★	—(再掲分)	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		一般事業(評価対象外)	
0603-11	ごみ処理券事業		事業費合計(千円)	29,400	23,871	22,915	20,960	
			うち一般財源分(千円)	6,140	3,439	2,003	48	
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	
0603-12	共同処理運営事業		事業費合計(千円)	1,105,840	1,091,580	1,113,006	1,111,051	
			うち一般財源分(千円)	1,104,258	1,090,298	1,111,581	1,109,626	
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	